



第183号

編集発行

愛知学院大学
事務局 庶務課

☎ 470-0195

愛知県日進市岩崎町
阿良池12

電話(0561)73-1111(代)

「大学教育の

充実強化」

学院長 小出 忠孝

新年明けましておめでとう
ございます。平成25年の新春
を皆様にはお健やかに迎えら
れたことと、心よりお慶び申
上げます。

愛知学院は本年創立137
周年を迎え、中部地区で最も
古い歴史と伝統をもつ私学で
あります。大学は開学59年で
すが、将来の高等教育の重要
性を予見して戦後、東海地区

でもっとも早く新制大学を創
設し、それ以来私立大のリー
ダー校となつています。現在
私は全国の私立大学394校
の加盟する日本私立大学協会
の全国の副会長、中部地区の
支部長に選任され、全国の私
立大学のリーダーの一人とし
て私学振興のため努めていま
す。本学は今春経済学部を新
設しますが、その結果9学部
18学科、大学院9研究科、短
大部に、学生1万2千5百名
を擁する中部地区で最大級の
規模と内容を誇る私立の総合
大学となり、社会的責任は益々

大きくなってきます。

「高等教育の重要性」

現在わが国では人口・産業・
社会の各構造が大きく変化し
ている上、世界的な経済不況
の波に見舞われ大変厳しい状
況に陥りつつあります。さらに
一昨年春の東日本大震災、福
島の原発事故の突発により、
わが国は未曾有の危機に晒さ
れています。しかし社会は本
格的知識基盤社会、成熟社会
を迎えて、わが国を繁栄させ
るために、高等教育を受けた人
材の必要性は益々大となつて

きます。質の高い教育により
豊かな教養と高度の専門的能
力(学士力)を身につけた人
材が益々重要となつてきます。
しかし近年の18才人口の減少
と大学の急増とが、大学全入
と学生の学力低下を招来して
いると言われています。

「設置認可の検討会議」

この様な大学の急増と質の低
下傾向に対し、昨年11月に文
科省で「大学の設置認可のあ
り方を考える会議」の第一回
会合が開かれました。これは
昨秋文科大臣の開設予定の三
大学の不認可問題を受けて発
足したものです。大臣は「近
年多くの大学が設置されたが、
教育の質は低下傾向にあり、
定員未充足校も増加している。
大学設置の在り方を根本的に
見直し、安易に大学の新增設
は認めるべきでない」の見解
から、大学設置の審議の在り
方について検討する事となつ
たものです。年内に提言をま
とめ14年度開設予定の大学か
ら、新基準を適用したいとし
ているが、あまりにも短期間
の為、具体的な審査基準や審
査体制などを改訂する事は難
しく、改善の方向性だけを示
すことになる様です。

「名城公園キャンパス」

現在開発中の都心キャンパ
スは名古屋市の中央で地下鉄
名城公園駅前にあり、東海道
線、中央線、名鉄、近鉄等す
べての重要鉄道に直結し交通
の便は最高で、しかも名城公
園の東に隣接する静かな環境
で勉学に最適な地区です。こ
の地区に既設の商・経営と今
春新設の経済の、ビジネス系
三学部の二年生以上の教育を
平成26年度より行う予定で、
現在11階建ての教室・研究室棟
大講堂棟、図書館棟を建設中
です。躍動する社会と密接な
連携のもと、教育の充実、強
化を図ると共に、総合大学の
利点を生かし他学部の協力の
もと、大都市名古屋の知的拠
点の構築、さらに官公庁をは
じめ経済界及び各界との交流
拠点を形成します。また市民
の生涯学習の拠点にふさわし
い場所のため、市民講座の開
設等、経済・文化発展の核と
なることも目指します。大学
ではこれを契機に教育・研究
の発展と社会貢献のため更に
邁進する覚悟です。

今回設立された大学設置基準
検討会議での適正な結論を期
待するものです。

「大学進学率の上昇」

最近20年間わが国の大学進
学率は36%から51%へと大幅
に上昇しています。しかしこ
の進学率の上昇は日本だけで
なく、他の主要国でも大きく
上昇し、豪州は94%、米国は
74%、韓国は71%と軒並み上
昇しておりますが、先進国の
中で日本の進学率は各国の平
均以下であり、さらに進学率
の伸びは最低です。また主要
国の中で日本だけが進学率は
上昇しているものの大学入学
者は減つてきています。一方
進学率の伸びの大きい国ほど、
経済成長率も大きくなつてお
り、高度な知識を身に付け、
高度な学歴と経済成長との
関係を明確に示しています。
わが国も大学進学率を上昇さ
せないとい、世界の経済成長に
ついていけなくなります。産
業構造の劇的な変化に対応す
るために、高度な知識を身に
つけ、様々な分野で技術革新
の担い手となる人材を育てる
事が必要であります。諸外国
が急速に高度学歴化し経済力
を強化しつつある時に、わが国
が現状に甘んじていては、世
界の経済の進歩に遅れをとる
事は明らかで、世界の進歩発
展に遅れない様に努力する必
要があります。更に重要な事
は単に数字を増やすだけでな
く、教育の内容を充実させる
事です。昨夏の中教審の答申
にある様に、大学教育の質的
転換に向けて努力する必要が
あり、従来の教育方法をさら
に転換向上させる事が求めら
れています。大学教育の質的
転換に向けて教育内容の一層
の充実向上を望むものです。

「私学を巡る厳しい環境」

現在わが国は18才人口が1
20万人へ減少する中で、大
学は250校増加のため大学
全入時代を迎え、さらに志願
者が東京、関西の有名大規模
校へ集中するため、地方の中
小規模264校(45・8%)
が定員割れとなつています。
この様に私学を取巻く厳しい
環境の中で大学として最も重
要なことは「学生に魅力ある
大学、就職に強い大学」にな
る為、教育内容を充実強化し
学士力を十分に身につけ就職
させる事です。そのため全教
職員が「私学危機」の意識を
持ち、大学教育の充実強化に
努め、この厳しい時代を切り
抜けるため努力される事を、
年頭にあたり全教職員にお願
いする次第です。

一生の計は少壮にあり

後援会 会長 水野 一樹



新年あけましておめでとうござ
います。
大学教職員の皆様、大学後援会
のみならずには健康やかな新年を迎
えられたこととお慶び申し上げま
す。

平成25年の新年を迎え、一言ご
挨拶を申し上げます。

日頃は後援会の運営に会員の皆
様の多大なご支援、ご協力を賜り
心より感謝申し上げます。

さて昨年は振り返ってみますと、
5月の東京スカイツリーの開業、
7月からのロンドンオリンピック
でのメダルラッシュ、12月のiP
S細胞の研究での山中教授のノー
ベル賞医学・生理学賞の受賞等、
日本の底力世界に見せつけた1年
となりました。また尖閣諸島や竹
島問題により、日中・日韓間の関
係悪化や欧州債務危機に起因する
新興国経済の減速による経済への
影響等、日本を取り巻く環境は厳
しい状況が続いています。

年末には衆議院の解散を受け総
選挙が行われ、3年3か月の民主
党政権に終止符が打たれ、自民党
の新安倍政権が誕生いたしました。
景気回復・雇用拡大政策を積極的
に行うという期待から、日経平均
も1万円を回復し、為替も円安方
向に動き、デフレ脱却への道が開
けてまいりました。

また後援会も昨年、メイン事業
であります支部懇談会を各支部長
様、副支部長様はじめ関係各位の
皆様の協力で全国24会場で開催
を致しました。各会場には多数の
会員の方のご参加を頂き、実りあ

る支部懇談会とすることができま
した。この支部懇談会で皆様から
拝聴いたしましたご意見は、大学
側と協議して私たちの子供たちが
より良い環境で充実した学生生活
を送れるよう改善に努めておりま
す。そのほか、「大学だより」の
発行、教育部関係の助成、クラブ
への助成、クラブ優勝祝賀会の開
催、施設厚生部関係の助成、そし
て不況の中、家庭の突発的緊急時
に経済的理由で休退学を余儀なく
される学生に、応急的に学業継続
を支援する目的で設けられており
ます。また学生の皆さんにはこの言葉
を贈ります。「一日の計は朝にあ
り。一年の計は春にあり。一生の
計は少壮にあり。」江戸の儒学者
安井息軒の私塾「三計塾」の設立
趣旨文だそうです。一年の計は元
旦にありという言葉は有名ですが、
一年の計は春イコール正月であり、
一生の計は若く元気な時に立てな
さいという事になります。大学生
活4年間で、自分の未来を描き、
将来を考え、人生を創造して下さ
い。その目標に向かって計画を立て
てください。今がその時です。

本年4月には経済学部が新設さ
れ、来年には名城公園キャンパス
が誕生いたします。より良いもの
に常に改善をし、常に新しいもの
にチャレンジをして行く愛知学院
大学を後援会は今後も応援してい
きたいと思っております。なお一層の
ご理解、ご協力をお願い申し上げま
す。
本年も皆様にとって素晴らしい
年になりますように心からお祈り
申し上げます。新春のご挨拶と致しま
す。

教育力で選ばれる

大学に向けての教育改革

学長 大野 榮人



謹んで新春のお慶びを申し上げます。
平成25年の新春をお健やかに迎え、心よりお慶び申し上げます。
昨年は、尖閣諸島の国有化に端を発し、中国国内で日本に対する批判が暴徒化し、反日デモによって多くの日系企業が襲撃されました。円高による経済不況から立ち上がれず、政治の混乱によって、東日本大震災の復興も全く進まず、先が見えない状況です。諸党乱立の中で衆議院議員の総選挙が行われ、自民党が圧勝しました。

今年こそ、佳き年になりますことを願っております。
新春を迎え、心を新たにしたい。社会に認知され、ブランド力のある大学造りに前進し

ていかなくはなりません。立ち止まっている余裕は全くありません。
教育の原点は、学生さんの一人一人が、いかに自立し、主体的に学問・研究などに取り組み、自ら学ぶ、ということにあると言っても過言ではありません。学生さんが、自立し主体的に学習してもらうためには、主体的な学びへのシステム化した授業造りへの転換がなされなくてはなりません。



せん。

それを実行するための施策を、昨年の5月以来、学部長会をはじめ、全学教務委員会・全学FD委員会および各学部の教務委員会・FD委員会・教授会などで審議を重ねて頂きました。

その結果を、昨年12月1日付けの「中日新聞」紙上に、「教育力で選ばれる大学へ」と題して、全学部長の写真を掲載いたしました。全学部長を前面に出して掲載したということは、社会的責任を伴うことである。各学部の教育が、本学にとっての教育改革に取り組み、頂かなくてはなりません。

一、教育改革の三ポイント

本学の教育によって、人間性として、「自分の可能性に挑戦し、協働の場で主体的に活躍できる人材の育成」を掲げました。社会が求める人材を育成するため、三ポイントに基づいて教育改革を実行して参ります。

(1)「大学での学びへの転換」

のため、学生さんは、授業を聞くだけといった受身の姿勢から自ら問い、考え、行動する主体的な学びへの転換が必要です。自分自身で課題を発見し、解決するスタディスキルを身につけてもらいます。

(2)「他者と協働できる学びの場を提供」

サポート等により、学生同士が互いに助け合い、学び合う仕組みを構築し、教えられ、教える側から、教える側の側面から、人間の成長を促していきます。

(3)「学びからキャリアへの転換」

「学びからキャリアへの転換」をするため、学生自身が課題を発見し、その原因や解決策を考え、課題解決力やチームワーク力、リーダーシップ力を育成するた

めの授業の転換をしていきます。

教育には終着点がありません。具体的教育上の施策については、各学部で真摯に検討をして頂かなくてはなりません。全教職員の様々な提言とご協力をお願い致します。

二、大学教育の今目的問題

昨年、8月24日に中央教育審議会教育振興基本計画部会より、「第2期教育振興基本計画について(審議経過報告)」が提示されました。中央審議会が、今、大学教育に何を期待しているのか。本学の教育改革を、中央審議会の意向を踏まえて実行されなくてはならないので、以下において重点項目をあげておきたいと存じます。

前文には、「今まさに我が国に求められているもの、それは『自立・協働・創造に向けた一人一人の主体的な学び』である。」と述べられ、本学の教育改革も、この一線にありま。続いて「当事者としての危機感共有し、自ら果たすべき課題を追求し、それぞれの現場で行動することが求められる。何もしないことが最大のリスクである。」と述べ、「教育こそが、人々の多様な個性・能力を開花させ人生を豊かにするとともに、社会全体の今後一層の発展を実現する基盤であることは論をまたない。今後進展が予想される少子高齢化を踏まえれば、一人一人が生涯にわたって能動的に学び続け、必要とする様々な力を養い、その成果を社会に生かしていくことが可能な生涯学習社会を目指していくことが必要である。これこそが、我が国が直面する危機感を回避させるものであると強調したい。」とし、「教育行政としては、このような社会の実現に向けて、何

より、責任を持って教育成果の保証を図っていくことが求められる。このため、第2期計画において、(1)社会を生き抜く力の養成、(2)未来への飛躍を実現する人材の養成、(3)学びのセーフティネットの構築、(4)結びつきと活力あるコミュニティの形成を基本方針として位置づける。」とされている。そのために、明確な成果目標の設定と、それを今後5年間で実現するための具体的な体系的な方策として、次のような各課題を実現していかなくてはならない。実現できなければ、高等教育機関としての役割を失うことを肝に命じなくてはならない。

(1)社会を生き抜く力の養成
・成果目標Ⅱ生きる力の確実な育成
①確かな学力を身につけるための教育内容・方法の充実
②教員の資質能力の総合的な向上
③継続的な検証改善の方策
・成果目標Ⅲ課題探究能力の修得
①学生の主体的な学びの確立に向けた大学教育の質的転換

(2)大学教育の質の保証
①初等中等教育・高等教育の接続の円滑化・充実
・成果目標Ⅱ自立・協働・創造に向けた力の修得
①現代的・社会的な課題に対応した学習等の推進
②学習の質の保証と学習成果の評価・活用の推進
・成果目標Ⅲ社会的・職業的自立に向けた能力・態度の育成等
①キャリア教育の充実、職業教育の充実、社会への接続支援、高度職業人の育成の充実、強化
(2)未来への飛躍を実現する人材の育成

千田 彰歯学部教授 前田初彦歯学部教授 モンゴル国民民主化 20年記念大統領顕彰受賞

千田彰歯学部教授、前田初彦歯学部教授の両名にモンゴル国民民主化20年記念大統領顕彰が授与された。

両教授は、1997年以来(前田教授は1998年以来)、モンゴル国の僻地での無料歯科治療を本学学生、歯科医師、現地大学教員、学生ら、さらには年度によっては日本の中学生や高校生のボランティアとともに、毎年実施してきている。

また、同時にモンゴル健康科学大学(旧モンゴル医科大学)での講演、研修会を実施し、同大学の教育、研究の発展に寄与してきている。

こうした活動に対し両教授に大統領顕彰が授与された。さらに同大学と本学の学術交流協定に基づき、同大学出身の歯科医師4名が本学歯学

・成果目標Ⅱ社会全体の変化や新たな価値を主導・創造する人材等の養成
①優れた才能や個性を伸ばす多様な高度な学習機会等の提供
②大学院の研究拠点、大学の研究力強化の推進
③外国語教育、留学生の交流、国際交流、国際化、グローバル人材の育成
(3)学びのセーフティネットの構築
・成果目標Ⅲ意欲ある全ての者への学習機会の確保
①経済的支援
②困窮する者への教育支援
・成果目標Ⅳ安全・安心な教育研究環境の確保
①教育研究環境の整備、安全に関する教育の充実
(4)結びつきと活力あるコミュニティの形成
・成果目標Ⅱ互助・共助の活力あるコミュニティの形成
①結びつきに向けた学習環境・協働体制の整備
②家庭教育支援の充実
以上です。本学の教育に何が不足しているか、是非とも考え頂きたいと存じます。教育改革なしに大学は生き残ることはできません。教育改革に向けて、教職員はじめ後援会の皆様のご協力を願ひ、新年のご挨拶といたします。



第2回

大学生のための 特別講演会開催

11月28日(水)午後3時30分より日進キャンパス百周年記念講堂において、大学生のための特別講演会が開催された。講師に前宮崎県知事の東国春英夫氏を招き、「ピンチをチャンスに」をテーマに講演いただいた。

この特別講演会は本学学生が今後のキャリアデザインの実現に向けた一助として、著名な方を招き講演を聴くことによって人生観や社会性を身につけてもらうために今年度新たに企画され、先回の福沢朗氏に続く2回目の開催。

講演会には本学学生及び一般の方1000名以上の方が来場した。

講演会では、東国原英夫氏の小学校時代の夢についてや、ピンチは氏子の弟子入り秘話、たけし軍団の裏話、知事時代の苦労話など、ざっくばらんな自身の体験談からは、「ピンチ(失敗)は学びの場である」という強いメッセージ



高田三枝子文学部講師
第40回

金田一京助博士記念賞を受賞

本学文学部日本文学学科講師の高田三枝子氏の「日本語の語頭閉鎖音の研究」(くろしお出版、2011年)が、第40回金田一京助博士記念賞を受賞した。

「金田一京助博士記念賞」は、金田一京助博士(1882-1971)の業績にちなみ、日本および周辺諸民族の言語ならびに関連文化についての研究・業績を中心に、言語ならびに関連文化の科学的

梶浦 雅己 商学部教授に 本学より博士(商学)授与

本学商学部教授梶浦雅己氏に本学から平成24年10月3日付で博士(商学)の学位が授与された。

同氏は昭和29年生。昭和52年北海道大学水産学部卒業後、ハウス食品株式会社研究所、公文教育研究所、クエスト・インターナショナル・ジャパ株式会社、ネスレ日本株式会社で勤務。その間に平成9年横浜国立大学大学院経営学研究科修士課程修了、平成12年横浜国立大学大学院国際開発研究科博士後期課程修了。同年、博士(学術)の学位取得。

梶浦氏は平成12年より本学商学部専任講師、平成13年同助教授、平成17年同教授。梶浦氏は本学で学生への指導とともに研究も進められ、この度本学より博士(商学)を授与された。



薬学部 佐藤雅彦教授
「日本薬学会環境・衛生部会学術賞」を受賞

衛生部会学術賞を受賞

平成24年10月25日から26日に名古屋で開催されたフォーラム2012「衛生学・環境トキシコロジー」(主催：日本薬学会)において、本学薬学部の佐藤雅彦教授(衛生薬学講座)が平成24年度の「日本薬学会環境・衛生部会学術賞」を受賞し、表彰式並びに受賞講演が執り行われた。

受賞講演の演題名は、「環境衛生学におけるメタロチオネインの生物学的意義に関する研究」。この「日本薬学会環境・衛生部会学術賞」は、環境・衛生系薬学における優れた研究業績を有し、また環境・衛生部会の発展や社会貢献に多大な寄与を果たした者に贈られる賞であり、生体防御因子の一つであるメタロチオネインに関する長年の研究



経営学部3年の学生チームが 京都工業会賞を受賞

11月24日(土)に開催された第12回バーチャルカンパニー・トレードフェア(場所：京都大学国際交流ホール)で、愛知学院大学経営学部の学生チーム「ジュネレイティブ」(現代企業学科3年堀耕太郎、野崎暁、山田芽衣、岩本梓、高羽剛史)が、京都工業会賞を受賞した。被災地の地域復興を目的とし、塩害土壌を再生させる塩レンガを製造するなど、もの作りに新しい発想のあった点が評価された。

バーチャルカンパニーとは、特定非営利活動法人アントレプレナーシップ開発センター(京都市)が提供するプログラムで、同プログラムは、小

垂水麻央さん(心身科学部健康科学科4年)
第64回毎日書道展 入選

第64回毎日書道展 入選

今後の垂水さんの更なる活躍が期待される。

本学心身科学部健康科学科4年の垂水麻央さんが、第64回毎日書道展(毎日新聞社主催)東海展において「U23新鋭賞・近代詩文書部」を受賞した。毎日書道展東海展は現代書を代表する伝統を誇る我が国最大規模の総合書展で、東海地区では公募部門の最高賞、毎日賞とU23毎日賞の10点に加え、垂水さんが受賞した新鋭賞がある。



日進キャンパス受動喫煙防止キャンペーン実施

平成19年度から開始した「受動喫煙防止キャンペーン」は、今年で6回目となりました。今年も例年と同様に、10月22日(月)から2週間にわたって昼休みの時間帯に、揃いの黄色いジャンパーを着用し、学生と教職員がいつしよになって喫煙マナーの向上をアピールしました。キャンペーン参加者は、教員28名、職員157名、学生391名と、昨年に比べて学生は減少したものの教職員(特に職員)から多く参加していただいたおかげで総数576名に達し(いずれも延数)、タバコの煙や臭いのない爽やかな空気の中でキャンパス生活をおくったという気持ちをお伝えしました。



保健センター所長 大澤 功

図書館情報センター主催 「第1回ブック・アピール・コンテスト」実施

平成24度の新企画として「ブック・アピール・コンテスト」を実施しました。応募総数22作品で、小説、古典、ビジネス本、自己啓発本など様々な分野の本について、アピールしていただきました。各学部から5名の審査委員による厳正なる審査の結果、次の5名の方が受賞されました。

①最優秀賞 1名

商学部商学科2年

大日向 里奈
「ハッピーバースデー」

②優秀賞 1名

商学部商学科2年

今村 公香
「つるかめ助産院」

③佳作 3名

心身科学部心理学科2年

海沼 珠美
「江戸川乱歩傑作選」

商学部商学科2年

余原 慧美
「レインツリーの国」

商学部商学科3年

土屋 一将
「勝ち続ける経営」

去る12月11日(火)に本部棟2階の学長室にて、大野榮人学長より表彰状と記念品が授与されました。最優秀賞を受賞した大日向さんは、「今後、文章力をつけるためにも、読書を行きたい」と抱負を。なお、受賞作品についての展示を図書館情報センター新館1階にて開催(12月11

AGU図書館情報センター・日進市立図書館共催 センター所蔵16ミリ映画上映と講演会を開催

平成22年4月に日進市と本学の官学連携の協定が締結され、多方面において交流が深められています。本学図書館情報センターでは、先回の「海獣葡萄鏡」に続き、日進市立図書館との共催にて、センター所蔵の16ミリ映画「日本の文様」(制作・学研、制作年・昭和50年)の上映会と講演会を日進市立図書館・視聴覚ホールにて、去る平成24年11月8日(木)に開催しました。最近、東京や欧州のファッション業界でも「有松鳴海紋」の作品が話題になっていますが、このデザインも伝統的な日本の文様がもとになっています。

16ミリ映画「日本の文様」は、東京国立博物館収蔵の縄文時代からの土器や、それ以後の陶磁器、漆工、染色などから、文様の起源や表現方法などを、わかりやすく紹介しています。16ミリ映画鑑賞後、日本における中世陶器の文様の変遷について、近年の研究成果を中心に、本学文学部、藤澤良祐教授による講演を行いました。講演後、草創期から後期にわたる古瀬戸の様式の変遷から花文までの解説。さらに、中国陶磁の文様など、幅広く陶磁器の文様についてお話をいただきました。藤澤先生が実際に発掘した鎌倉時代などの陶片を9点展示。講演後、その展示を囲んで、



図書館情報センター主任
藤岡聖子



- この祭典は国際交流センター主催で行われ、後援に中日新聞社、日進市国際交流協会、長久手市国際交流協会、(株)熊
- 12月8日(土) 日進キャンパス・学院会館ホールにおいて、第9回英語と日本語によるスピーチの祭典が開催された。
- 【学長賞】
牧野晋也(文・グローバル英語4年)
ミフタクル・アムリ(文学研究科・博士1年)
- 【国際交流センター所長賞】
西田栄一(文・グローバル英語3年)
アメリカ・カルネリア(総合政策3年)
- 【中日新聞社賞】
岡前まりな(文・グローバル英語1年)
太 美善(心身・健康栄養3年)
- 【長久手市国際交流協会会長賞】
守安貴祝(心身・健康栄養1年)
- 【日進市国際交流協会会長賞】
トラン・クオック・フォン(文学研究科・博士2年)
- 【審査委員特別賞】
阿部早織(文・国際文化2年)
姜 麗娟(経営・経営4年)

第9回 英語と日本語による スピーチの祭典

谷組のもと実施された。当日は国際交流センター事務長の開会宣言、引田国際交流センター所長の挨拶のあと、英語部門18名のスピーチが行なわれ、休憩をはさみ、留学生18名による日本語部門のスピーチが行なわれた。

スピーチ終了後、場所を学院会館グリーに移し、英語研究科の部員による企画で、「英語のことわざクイズ」が行われた。

その後、表彰式ならびに懇親会が開催され、各賞の発表の後、上田恒雄実行委員(文学部グローバル英語学科教授)の乾杯挨拶の後、和やかな懇親会が行なわれた。

受賞者は左記のとおり。



12月2日(日)、日進キャンパスにて、日進市主催の「こども大学につしん」が開催された。

この企画は、本学と日進市との連携協力協定に基づくもので、日進市役所企画政策課が次世代を担う子供たちの知的好奇心を高める学びの場を提供することを目的に、日進市内在住の小学生4年・5年・6年生を対象に開催され、今年で2回目を迎える全国的にも珍しい取組。

今回は希望した小学生56名が参加した。

午前10時より開校式が行われ、萩野幸三日進市長が「こども大学」の学長となり開学の挨拶の後、引田弘道入試セ

ンター部長が参加した児童に「学問のおもしろさ」について挨拶があった。

その後、「みんなで体を動かそう!!」をテーマに水藤弘史心身科学部講師と心身科学部の学生によるレクレーションが行われ、昼食後、午後1時よりロースクール棟の模擬法廷教室にて、「裁判って何をしてるんだろう?何のためにあるんだろう?」をテーマに鈴木慎太郎法学部准教授、本部棟1階のオープンスペースにて、「世の中には、どうして会社がいつぱいあるの?」をテーマに村上康司法学部講師による授業が行われた。

参加した児童、引率の保護者も普段触れる事のない法廷



の雰囲気や、参加した児童同士のグループで一緒に考えた所での勉強にとっても満足していた。

主催の日進市によると、今後も開催の方向で検討がなされている。

第31回法学部 学生法律討論会開催

法学部が法学部の学生を対象に行なっている学生法律討論会が、昨年11月15日(木)午前10時から日進キャンパス6501教室で開催された。この討論会は毎年実施され、今回で31回目となる。

服部朗法学部長によるあいさつの後、事前に発表されている問題について、6名の立論者が各々の見解から意見を述べ、各立論者の発表の後、聴講の学生による質疑応答が行なわれた。

午後からは、講演会を挟んだ後、午後3時10分より討論会の成績発表・表彰式・講評があり閉会した。

優勝者には学長杯・賞状、ならびに副賞として賞金3万円(図書券)・記念品が贈られた。受賞者は次のとおり。

- 優勝 山田 加奈(4年)
- 準優勝 三輪 大貴(3年)
- 3位 平川 貴央(2年)



法学会主催講演会開催

11月15日(木)午後1時30分より、日進キャンパス6号館6501教室にて法学会主催講演会が開催された。この講演会は学生法律討論会と同日に開催された。

今回は、立命館大学法務研究科(法科大学院) 山田泰弘教授を招き、「法制審議会社会法制度部会による社会法改正一その力学的分析」をテーマに講演が行われた。

講演は社会法制度の見直しテーマの策定をテーマに、社会法制度の改正がなぜ必要か、社会法がどのように関わっているかなど、また時系列に従って改正がどのように審議されているか、政権交代に伴って審議がどのように変遷して



就職活動について

4年生の方へ

新年を迎えご家庭では団楽のひと時をお過ごしだと思います。さて、就職先が決定している方のために来るべき社会人生活に向けて社会人としてのマナーや話し方のガイダンスを計画していますので、後日ご子女に宛ててメールでお知らせします。

また、就職活動が続いている学生諸君のためにキャリアセンターでは毎日1社ずつ学内で企業説明会を行なっていますのでぜひ参加していただくようご案内ください。この学内説明会は“就活ラストスパート”と銘打ち、卒業式を迎える3月まで続けてまいります。

さらに現在女子採用の求人収集しており、キャリアセンター内に女子求人コーナーを設けて女子学生に提供しています。もちろん、これに先駆けて男子の求人コーナーも設けていますのでご利用ください。4年生に対する求人は12月初めで7,000社を超えました。本学は卒業生を13万人近く輩出しています。それら卒業生の皆さんが社会で活躍しておられ、愛知学院の学生が欲しいと言っている企業が多数あります。現在も1週間平均で200社ほどの求人が寄せられます。これらの求人はネット上でも確認できますので、これを基に就職活動を進めて行くようご案内ください。

最後に、就職先は決まっているもののキャリアセンターに全く報告していない、あるいは未決定で活動状況を報告していない学生がいます。12月にそれら未報告の学生の保護者の方々のご住所宛に“報告用ハガキ”をお送りしています。ハガキが届いている場合はご子女にお渡しいただき、必ず報告をするようにお伝えください。

3年生の方へ

就職活動が12月1日から本格的に始まりました。一昨年は10月1日が活動開始日でしたので、昨年から就職活動期間が短くなりました。日本経済新聞にマイナビ編集長三上氏の言葉が掲載されています。「就職活動の短期化は内定獲得に向けて早くから動く学生と余裕ができたとのんびり構える学生の二極化を拡大した。『のんびり派』は就職活動で苦戦した」というものです。

本学にもこの分析は当てはまります。いち早く活動した学生には5月下旬から6月中旬に内定が出てきました。

また、気をつけなければならないのが、面接を2・3社受験し落ちてしまうと諦めてしまう学生がいることです。現在の就職活動では“面接を30～40社受ける”とそこから2～3社内定がもらえるのが一般的です。パソコンでのエントリーだけ、あるいは市中で行われる合同企業説明会に参加するだけ(壁の花になって実際に企業ブースで企業からの話を聞かない場合もある)では内定がもらえるはずがありません。実際に人事の方と対面して面談を重ねることによって自分自身が磨かれて行き、ついには内定獲得となります。内定が出るまで、諦めず活動が続けることが大切です。

さて、保護者の方へのお願いです。就職活動は学生自身が遂行して行かなくてはなりません。ネット上で企業情報を集めることくらいは手伝うことができますと思いますが、保護者の方が直接企業に連絡をするのはやめてください。また、企業の説明会に学生の代わりに保護者の方が出席するなどはもってのほかです。企業側は、そうした保護者の子供は嫌います。保護者の庇護から独り立ちしていない学生を採用すると、働き方・仕事の仕方などに保護者の方から会社(クレーム)などが入ることを体験的に知っています。自分で考え、行動できない学生は採用されませんのでご注意ください。「子離れ」、学生側からすれば「親離れ」が必要です。

では、保護者は子供さんをどのように扱えばよいですか。就職活動中はネット上でのエントリーや履歴書・自己紹介書の作成など“書く”という頭を働かす作業に加え、説明会や面接といった実際自分の身体を動かすことが多くなります。内定獲得は容易にできるわけではないので精神的に追い込まれていく場合があります。「なにやってるの!」「そんなんじゃダメだよ!」などの言葉は禁句です。また、大変苦労して得た内定に「そんなところは・・・」と否定せず、まずは「よく頑張ったね」とほめた上で、今後のことをどうするのかよくよくお子様と相談してください。ご家庭ではご子女が頑張れるように「調子はどう?」などの言葉をかけて暖かく包みリラックスさせてあげていただきますようお願いいたします。

※各企業・団体の都合により参加日が変わる場合があります

2013 学内就職セミナー

1月29日(火)スクール形式

No.	社名・団体名	事業内容
1	㈱三菱東京UFJ銀行	銀行・証券・保険
2	㈱愛知銀行	銀行・証券・保険
3	タキヒヨー㈱	アパレル・繊維
4	セキスイハイム中部㈱	住宅・建設・不動産
5	瀬戸信用金庫	銀行・証券・保険
6	愛知トヨタ自動車㈱	カーディーラー
7	㈱JTB中部(JTBグループ)	ホテル・旅行
8	凸版印刷㈱	印刷・出版・紙パルプ

1月30日(水)スクール形式

No.	社名・団体名	事業内容
1	井村屋グループ㈱	食品
2	山崎製パン㈱	食品
3	伊勢湾海運㈱	運輸・流通
4	㈱名古屋銀行	銀行・証券・保険
5	㈱伊藤園	食品
6	東海旅客鉄道㈱(JR東海)	運輸・流通
7	㈱エイチ・アイ・エス	ホテル・旅行
8	日本郵政グループ(ゆうちょ生命保険)	サービス

1月31日(木)スクール形式

No.	社名・団体名	事業内容
1	㈱中京銀行	銀行・証券・保険
2	㈱三井住友銀行	銀行・証券・保険
3	愛知県警察本部	公務員
4	東邦ガス㈱	その他製造・販売

2月1日(金)スクール形式

No.	社名・団体名	事業内容
1	タカラスタンダード㈱	製造(インテリア・建設・住宅設備)
2	名古屋市人事委員会(名古屋市民局)	公務員
3	興和㈱	商社(卸売)

1月29日(火)ブース形式

No.	社名・団体名	事業内容
1	いちい信用金庫	銀行・証券・保険
2	岡崎信用金庫	銀行・証券・保険
3	知多信用金庫	銀行・証券・保険
4	中田信用金庫	銀行・証券・保険
5	豊田信用金庫	銀行・証券・保険
6	尾西信用金庫	銀行・証券・保険
7	岡三証券㈱	銀行・証券・保険
8	木村証券㈱	銀行・証券・保険
9	東海東京証券㈱	銀行・証券・保険
10	豊証券㈱	銀行・証券・保険
11	大正製薬HDグループ	医薬品・医療・化粧品
12	㈱イズミック	食品
13	㈱昭和	食品
14	㈱西原商会	食品
15	日本食研ホールディングス㈱	食品
16	㈱浜乙女	食品
17	イオン㈱	アパレル・繊維
18	㈱近藤紡績所	アパレル・繊維
19	㈱三陽商会	アパレル・繊維
20	サンリールグループ	アパレル・繊維
21	瀧定名古屋㈱	アパレル・繊維
22	三井物産	製造(化学)
23	ホーユー㈱	製造(化学)
24	㈱川本製作所	製造(電気・機械・金属等)
25	㈱野村工業	製造(自動車部品)
26	㈱オリーブ	製造(インテリア・建設・住宅設備)
27	東邦テクノロジ㈱	製造(インテリア・建設・住宅設備)
28	商社(卸売)	商社(卸売)
29	ソニーリージョナルセールス㈱	商社(卸売)
30	中央工機㈱	商社(卸売)
31	㈱極星	商社(卸売)
32	デュプロ販売㈱	商社(卸売)
33	㈱東陽	商社(卸売)
34	トヨタL&F中部㈱	商社(卸売)
35	㈱日伝	商社(卸売)
36	初穂商事㈱	商社(卸売)
37	渡辺ババヤ㈱	商社(卸売)
38	㈱上組	運輸・流通
39	キムラユニティ㈱	運輸・流通
40	㈱情報と物流のタカエ	運輸・流通
41	東陽倉庫㈱	運輸・流通
42	㈱アソシエーション	運輸・流通
43	㈱アソシエーション	運輸・流通
44	西尾レントオール㈱	自動車・建設機械レンタル
45	貝沼建設㈱	住宅・建設・不動産
46	㈱サンヨーハウジング名古屋	住宅・建設・不動産
47	大和ハウス工業㈱	住宅・建設・不動産
48	㈱カマ	スーパー・小売
49	㈱サークルKサンクス	スーパー・小売
50	㈱スギヤマ薬品	スーパー・小売
51	㈱名古屋三越	スーパー・小売
52	愛知スズキ販売㈱	カーディーラー
53	トヨタカローラ愛知㈱	カーディーラー
54	トヨタカローラ名古屋㈱	カーディーラー
55	㈱アイエスエフネット	情報・通信
56	㈱エスケイアイ	情報・通信
57	㈱オークローンマーケティング	情報・通信
58	㈱第一コンピュータリソース	情報・通信
59	日本情報㈱	情報・通信
60	㈱マイナビ	情報・通信
61	高見㈱ TAKAMI BRIDAL	サービス
62	ミツイコーポレーション㈱	サービス
63	日本放送協会(NHK)	マスコミ・放送
64	浜松市人事委員会(浜松市役所)	公務員
65	東京消防庁	公務員

1月30日(水)ブース形式

No.	社名・団体名	事業内容
1	愛知県信用保証協会	銀行・証券・保険
2	㈱第三銀行	銀行・証券・保険
3	愛知信用金庫	銀行・証券・保険
4	清都信用金庫	銀行・証券・保険
5	豊川信用金庫	銀行・証券・保険
6	西尾信用金庫	銀行・証券・保険
7	安藤証券㈱	銀行・証券・保険
8	第一生命保険㈱	銀行・証券・保険
9	フジモトHD㈱(ビップグループ)	医薬品・医療・化粧品
10	全印㈱	食品
11	㈱トーカー	食品
12	㈱ヤマト	食品
13	信友㈱(SHINATOMO)	アパレル・繊維
14	東海染工㈱	アパレル・繊維
15	丹羽染工	アパレル・繊維
16	万兵衛	アパレル・繊維
17	岐阜プラスチック工業㈱	製造(化学)
18	河村電器産業㈱	製造(電気・機械・金属等)
19	ヤマダ電機(ヤマダ電機サービス)	その他製造・販売
20	㈱サンセイアールアンドディ	その他製造・販売
21	オゾワ科学㈱	商社(卸売)
22	㈱カネダ	商社(卸売)
23	㈱カネックス	商社(卸売)
24	㈱光文堂	商社(卸売)
25	三立興産㈱	商社(卸売)
26	第一実業㈱	商社(卸売)
27	ダイドー㈱	商社(卸売)
28	三菱電機住環境システム㈱	商社(卸売)
29	明治電機工業㈱	商社(卸売)
30	森定興商㈱	商社(卸売)
31	ヤチヨコシステム㈱	商社(卸売)
32	理研産業㈱(補聴器のリケン)	商社(卸売)
33	㈱キューソー流通システム	運輸・流通
34	中部日物流サービス㈱	運輸・流通
35	東日本旅客鉄道㈱(JR東日本)	運輸・流通
36	丸太運輸㈱	運輸・流通
37	三井物産	運輸・流通
38	㈱アクティオ	自動車・建設機械レンタル
39	㈱トヨタレンタリース愛知	自動車・建設機械レンタル
40	㈱エサキホーム	住宅・建設・不動産
41	東日本ハウス㈱	住宅・建設・不動産
42	名工建設㈱	住宅・建設・不動産
43	As-meイステール㈱	スーパー・小売
44	㈱エディオン	スーパー・小売
45	㈱キヤク(ケーズデンキ)	スーパー・小売
46	㈱杏林堂薬局	スーパー・小売
47	㈱ケヨー	スーパー・小売
48	東海キヨスク㈱	スーパー・小売
49	㈱バドロー	スーパー・小売
50	㈱メカネの和光	スーパー・小売
51	ネットトヨタ東海㈱	カーディーラー
52	㈱ナゴヤキャナル	ホテル・旅行
53	㈱ホテルグランコート名古屋	ホテル・旅行
54	リゾートトラスト㈱	ホテル・旅行
55	大版レーシング印刷㈱	印刷・出版・紙パルプ
56	㈱印刷	印刷・出版・紙パルプ
57	サンメッセ㈱	印刷・出版・紙パルプ
58	住友電工情報システム㈱	情報・通信
59	㈱トカイ	サービス
60	トヨタ生活協同組合	サービス
61	名鉄協商㈱	サービス
62	瀬戸市役所	公務員
63	岐阜県警察本部	公務員
64	三重県警察本部	公務員
65	名古屋消防局	公務員

1月31日(木)ブース形式

No.	社名・団体名	事業内容
1	大垣信用金庫	銀行・証券・保険
2	桑名信用金庫	銀行・証券・保険
3	東春信用金庫	銀行・証券・保険
4	半田信用金庫	銀行・証券・保険
5	日本生命保険相互会社	銀行・証券・保険
6	シーエス薬品㈱	医薬品・医療・化粧品
7	㈱メディセオ	医薬品・医療・化粧品
8	旭食品㈱	食品
9	㈱かぬ貝	食品
10	㈱丸亀産業	食品
11	長谷虎紡績㈱	アパレル・繊維
12	㈱レイア	アパレル・繊維
13	アイカ工業㈱	製造(化学)
14	アイホン㈱	製造(電気・機械・金属等)
15	北川工業㈱	製造(電気・機械・金属等)
16	藤田電子工業㈱	製造(電気・機械・金属等)
17	三協㈱	製造(自動車部品)
18	クリナップ㈱	製造(インテリア・建設・住宅設備)
19	文化シャッター㈱	製造(インテリア・建設・住宅設備)
20	東邦液化ガス㈱	その他製造・販売
21	佐久間特殊鋼㈱	商社(卸売)
22	㈱進和	商社(卸売)
23	日通商事㈱	商社(卸売)
24	萩原電気㈱	商社(卸売)
25	ミタチ産業㈱	商社(卸売)
26	森松工業㈱	商社(卸売)
27	リコージャパン㈱	商社(卸売)
28	山九㈱	運輸・流通
29	丸全昭和運輸㈱	運輸・流通
30	郵船ロジスティクス㈱	運輸・流通
31	住友不動産販売㈱	住宅・建設・不動産
32	地建興業㈱	住宅・建設・不動産
33	トヨタホーム名古屋㈱	住宅・建設・不動産
34	㈱ハートランド(ユニバーサルホーム)	住宅・建設・不動産
35	パナホーム㈱	住宅・建設・不動産
36	三井不動産リアルティ㈱	住宅・建設・不動産
37	㈱インゴ	スーパー・小売
38	㈱コメリ	スーパー・小売
39	羅久㈱	スーパー・小売
40	㈱名鉄百貨店	スーパー・小売
41	㈱知多(知多アリス名古屋駅前店)	カーディーラー
42	トヨタカローラ愛知㈱	カーディーラー
43	㈱ジェイアール東海ホテルズ	ホテル・旅行
44	㈱名古屋東急ホテル	ホテル・旅行
45	協和ダンボール㈱	印刷・出版・紙パルプ
46	新日本法規出版㈱	印刷・出版・紙パルプ
47	㈱トモク	印刷・出版・紙パルプ
48	平和紙業㈱	印刷・出版・紙パルプ
49	㈱CMC Solutions	情報・通信
50	㈱システムサポート 名古屋支店	情報・通信
51	都築電気㈱	情報・通信
52	㈱フューチャーイン	情報・通信
53	愛知県信用保証協会(愛知信用保証)	サービス
54	生活協同組合コープあいち	サービス
55	中京総合警備保障㈱	サービス
56	日本年金機構	サービス
57	法務省名古屋矯正監獄(信濃監獄・矯正心理専門)	公務員
58	警視庁	公務員
59	人事院中務事務局(国家公務員)	公務員
60	愛知労働局(労働基準監督官)	公務員
61	東海市役所	公務員
62	豊田市役所	公務員
63	大府警察本部	公務員
64	長野県警察本部	公務員
65	福井県警察本部	公務員

2月1日(金)ブース形式

No.	社名・団体名	事業内容
1	愛知県信用保証協会(愛知信用保証)	銀行・証券・保険
2	西濃信用金庫	銀行・証券・保険
3	東濃信用金庫	銀行・証券・保険
4	豊橋信用金庫	銀行・証券・保険
5	丸八証券㈱	銀行・証券・保険
6	あいおいニッセイ同和損害保険㈱	銀行・証券・保険
7	あすか製薬㈱	医薬品・医療・化粧品
8	アルフレックス㈱	医薬品・医療・化粧品
9	㈱三和化学研究所	医薬品・医療・化粧品
10	中北薬品㈱	医薬品・医療・化粧品
11	㈱八神製作所	医薬品・医療・化粧品
12	杉本肉産業㈱ スギモトグループ	食品
13	マルサンアイ㈱	食品
14	㈱金化学繊維㈱	アパレル・繊維
15	ヒロタ㈱	アパレル・繊維
16	八木兵衛	アパレル・繊維
17	大同メタル工業㈱	製造(電気・機械・金属等)
18	㈱TYK	製造(陶器・セラミックス)
19	尾畑長子子㈱	製造(インテリア・建設・住宅設備)
20	ボパール興業㈱	その他製造・販売
21	井澤金属㈱ 名古屋支店	商社(卸売)
22	㈱岡田商事	商社(卸売)
23	㈱ジェイアイエヌ(JINS)	商社(卸売)
24	杉本商事㈱	商社(卸売)
25	㈱瀬戸電機	商社(卸売)
26	辰巳屋興業㈱	商社(卸売)
27	富永電機㈱	商社(卸売)
28	㈱ナ・デックス	商社(卸売)
29	ホンザキ東海㈱	商社(卸売)
30	㈱丸九	商社(卸売)
31	峰澤鋼鉄㈱	商社(卸売)
32	㈱菱和	商社(卸売)
33	西濃運輸㈱	運輸・流通
34	セーラー㈱	運輸・流通
35	東濃鉄道㈱	運輸・流通
36	トヨフジ海運㈱	運輸・流通
37	㈱トヨタレンタリース名古屋	自動車・建設機械レンタル
38	サカイ創建㈱(グループ)	住宅・建設・不動産
39	積和不動産中部㈱	住宅・建設・不動産
40	日本ハウズイング㈱	住宅・建設・不動産
41	㈱アオキスーパー	スーパー・小売
42	㈱あかのれん	スーパー・小売
43	㈱清水屋	スーパー・小売
44	㈱ユタカファーマシー	スーパー・小売
45	㈱エラスト	カーディーラー
46	㈱カワカミ(カワカミ建設・カワカミ)	カーディーラー
47	サンアイ自動車㈱	カーディーラー
48	㈱名古屋観光ホテル	ホテル・旅行
49	小林クリエイティブ㈱	印刷・出版・紙パルプ
50	日本電子計算㈱	情報・通信
51	一般社団法人日本労働者協会名古屋支部	サービス
52	㈱魚沼総本社 名古屋本部	サービス
53	シダックス㈱	サービス
54	生活協同組合コープあいち	サービス
55	タニザワーズ㈱	サービス
56	ホリディスポーツクラブ(㈱東洋)	サービス
57	東京大学法政大学法政学系(法政学系)	一般社団法人
58	名古屋国税局(国税専門官)	公務員
59	愛知県人事委員会(愛知県庁)	公務員
60	長野県労働労働労働労働労働	公務員
61	豊橋市役所	公務員
62	日進市役所	公務員
63	静岡県警察本部	公務員
64	名古屋港管理組合	公務員

平成24年度

クラブ優勝祝賀会開催

平成24年度クラブ優勝祝賀会が12月5日(水)に開催された。会場となった日進キャンパス・学院会館には、今年度(一部に前年度も含む)の間に課外活動において優秀な成績を収めた団体・個人のクラブ部員をはじめ、大学関係者、大学後援会本部役員など多数の参加者が集まった。

招待の対象となる団体・個人は、団体の部については日本代表、全日本選手権大会8位までに入賞、東日本・西日本大会などの地方大会にて優勝・準優勝、中部・東海・県大会にて優勝となった団体、また個人の部では、団体の部と同等の基準のほか、最優秀

選手賞やベストナイン等の受賞を受けた者など、それぞれの活動において顕著な成績を収めたものが選出され、今年度においては団体表彰31団体、個人表彰105名が対象。開式に当たり大野栄人学長より学生諸君の健闘を讃える挨拶、水野一樹大学後援会会長の祝辞の後、クラブ顧問部長代表として、清水義和日本拳法部部長、クラブ学生代表として、日本拳法部から岡本慎平選手(商学部商学科4年)が謝辞を述べ、黒神聰学生部長による乾杯の音頭があり祝賀会が始まった。



会の終了時には、全員での校歌斉唱が行われ、和やかな雰囲気の中で進行された後、開会となった。

平成24年度
秋季公開講座
総合テーマ
「旅」閉幕

平成24年度の秋季公開講座「旅」は、12月1日(土)、最終回の「インドの寺院遺跡を巡る旅」(石黒淳・文学部教授)の講座を終えた後、閉講式が行われ清水義和公開講座委員長の挨拶があり閉幕した。

秋季公開講座は354名が受講し、毎回多くの方が出席し、6回の講義のうち4回以上出席して修了証書を授与されたのは304人になった。

平成25年度春季は「これからを生きる―高齢化社会を迎えて―」(仮)を総合テーマに、秋季は「今、経済になにが起こっているのか?」(仮)を総合テーマに開講する予定。春季講座と同一テーマによるラジオ放送講座も、今年度と同様に東海ラジオ、静岡放送、北陸放送の3局から放送の予定。

大本山永平寺
大本山総持寺
安居説明会を実施

11月28日(水)午後1時30分より、日進キャンパス本部棟第2会議室において安居説明会が実施された。

はじめに内田友宏事務局長の挨拶の後、曹洞宗大本山永平寺人権擁護推進室主任・山部主任・山部老、副悦・石井老、曹洞宗大本山総持寺維那(いのう)前川老師による安居説明が行われた。当日は18名の掛搭(かた)志願者が参加した。

両本山の老師からは、「本山での修行とは何か。」「今までの日常とは違う環境での生活とは何か。」「普段の私達の生活の中で宗祖道元禪師の教えがいかに浸透しているか。」「といったことを、わかりやすく話され、出席した寺院の子弟も熱心に老師の話を聞き入っていた。

卒業後の本山での修行生活の心構えを作るのに有意義な説明会となった。

※安居…僧が一定期間、外出を避けて修業に専念すること
掛搭…僧堂に入門すること

12月8日(土)名古屋学院大学において6大学合同震災ボランティア学生交流会が開催され、本学の震災ボランティアに参加した学生らが参加した。



催され学生同士の盛んな交流が見られた。

6大学合同
震災ボランティア
学生交流会

当日は本学のほか、名古屋学院大学、日本福祉大学、名城大学、中部大学による震災ボランティア活動報告、被災地である東北学院大学の取組報告がなされた。

本学からは、丹下英伸君、渡津尚晃君、橋岡正子さんが出席。報告後、参加学生のトークセッション、懇親会が開

12月7日(金)、本学SA学生による交通安全啓発ボランティアが愛知署と協力し、日進キャンパス近くの「カーマ日進竹の山店」で実施された。

SAによる
交通安全啓発
ボランティア

日進キャンパスが位置する愛知署管内では大学生の事故が多いことから、愛知署が「飲止湯運転根絶キャンペーン」と題し実施されたもので、本学から15人の学生が参加し、買い物客らに「飲酒運転はやめましょう」と呼びかけを行った。

ボランティアに参加した学生達も安全運転への意識の啓発となり、日頃の意識改善にもなったと感想を述べていた。

12月7日(金)、本学SA学生による交通安全啓発ボランティアが愛知署と協力し、日進キャンパス近くの「カーマ日進竹の山店」で実施された。

2013年度入試スタート

本学の2013年度入試は、10月14日に実施したアドミッション・オフィス(AO)入試でスタート。11月17日には推薦入試も終了し、いよいよ入試本番の時期となる。一般入試(前期・中期日程)は、教科や配点、解答方式などが異なる4つの試験方式を設けている。一方、センター試験利用試験では歯学部以外は本学独自の試験を課さず、センターの試験の結果により合否判定する。また、2013年度入試からセンター試験の2科目と前期試験Aの1科目の得点を利用して選考する「センタープラス試験」を新設。

入学試験の詳細は、ホームページAGU Campus Naviの「入試情報」に掲載。入試種別ごとの特徴や対策などの情報を掲載。各試験の実施学部・日程は次の通り。

愛知学院大学法科大学院 入試日程

研究科	出願期間
個別審査・事前審査受付期間	2013年1月15日(火)～1月21日(月) 締切日必着
出願期間	2013年1月28日(月)～2月4日(月) 締切日必着
一般試験	2013年2月23日(土) 締切日必着
法律科目試験	2013年2月24日(日) 締切日必着

愛知学院大学大学院 入試日程

研究科	出願期間	試験日
文学研究科 心身科学研究科 法学研究科	2013年1月15日(火)～1月24日(木) 締切日必着	2月6日(水)
商学研究科 経営学研究科 総合政策研究科	2013年1月15日(火)～1月24日(木) 締切日必着	2月7日(木)
研究科	出願期間	試験日
薬学研究科(博士課程) 薬科学研究科(修士課程)	2013年1月15日(火)～1月24日(木) 締切日必着	2月5日(火)

(問い合わせ: 法科大学院事務局)

(問い合わせ: 薬学部事務局)

研究科	出願期間	試験日
歯学研究科(博士課程) (歯科基礎系・歯科臨床系)	2012年12月10日(月)～2013年1月7日(月) 締切日必着	1月15日(火)

(問い合わせ: 歯学部事務局)

愛知学院大学 入試日程(問い合わせ: 入試センター)

試験区分	学部・学科	出願期間	試験日
一般入試	前期A	文・心身科学・商 経営・経済・法 総合政策学部	2月1日(金)～2月4日(月) [注1]
		薬学部	2月2日(土)・2月3日(日) [注1]
		歯学部	2月3日(日)
		短期大学部	2月1日(金)・2月3日(日) [注1]
	前期B	文・心身科学・商 経営・経済・法 総合政策学部	2月3日(金)・2月4日(月) [注1]
	前期M	文・心身科学・商 経営・経済・法 総合政策学部	2月5日(火)
センター プラス 試験	中期	全学部全学科	2013年1月7日(月)～2月4日(月) 締切日必着
	後期	全学部全学科	2013年2月18日(月)～2月28日(木) 締切日必着
「センター試験」 利用試験	全学部全学科 (短期大学部を除く)	2013年1月7日(月)～1月25日(金) 締切日必着	個別試験は実施しない (大学入試センター試験と 前期Aの得点により選考)
	「センター試験」 利用試験Ⅰ期	文・心身科学・商 経営・経済・法 総合政策・薬・歯 短期大学部	2013年1月19日(土) 1月20日(日)
	「センター試験」 利用試験Ⅱ期	文・心身科学・商 経営・経済・法 総合政策・薬・歯学部	2013年1月19日(土) 1月20日(日)
			実施しない 歯学部のみ 3月10日(日)

[注1]: 試験日は出願時に選択。試験日が異なれば、同一学科および他学科の併願可能。